

# はなみずき

第25号

(平成27年10月号)



## [薬剤部の紹介]

**患者さんに安全で良質な薬物療法を提供するために、  
内服薬・外用薬・注射薬の調剤をはじめ、  
さまざまな業務に取り組んでいます。**

薬剤部 主任薬局長 竹上 学

患者さんの治療に用いる医薬品は常に適正に使用されることが求められ、薬剤師は処方せんやカルテの情報から薬学的知識と技術を駆使し調剤しています。院内では、正確で適正な医薬品の提供、医薬品情報の収集・提供、ロット管理を含めた医薬品の適正在庫管理、注射薬無菌混合調製、院内製剤、治験・臨床試験への関わり、災害時や感染対策としての医薬品確保などの重責を担っています。これらの業務は、すべて医薬品を安全に使用するために存在し、また、「薬は人の命に関わるもの」と強く認識して、患者さんを思い浮かべながら責任をもって日々の業務を行っています。

医療機関では、様々な場面で多数の人が医薬品に関与します。職種により医薬品に対する向き合い方は異なりますが、最終的には患者さんに対して安全に、かつ、効果的に使用されるべきであり、そのために個々の医薬品を理解し、安全で効率的な方法で取り扱うことが望まれます。薬剤部では適正な情報提供と、薬学的知識をもって安全対策を講じることに努めています。

### 入院が決まった患者さんの服用している薬の確認

外来受診時に入院が決まった患者さんが服用している薬のチェックを薬局窓口で行っています。これは予定通りに手術や処置が行われるように、あらかじめ中止すべき薬がないかチェックし、中止すべき薬があればお伝えします。

### 治療内容の確認と薬を安全に使うための説明

入院患者さんと直接面談して、持参薬や入院中の内服薬・外用薬・注射薬の薬歴を管理し、同じ効き目の薬が重なって処方されていないか、薬同士ののみ合わせはないか、薬の効果が出ているか、副作用が出ていないか、薬がのめているかなどを検査データや症状とあわせて確認します。一部の抗生剤では薬の血中濃度や、腎臓や肝臓の機能を考慮して、個々の患者さんにおける最適な投与量・投与間隔の処方提案を行っています。薬の説明では、効果的な薬物療法および副作用の早期発見のため、患者さんに薬に対する理解を深めていただけるようパンフレットなどを用い、わかりやすく説明しています。

薬をのみ間違ったり、のみ忘れてたりしないよう指導するとともに、患者さんの状態により薬をのむタイミングごとに包装する支援も行います。退院の際には、退院後の薬に関する注意点などを説明し、お薬説明書やお薬手帳用シールをお渡しして、退院後の薬の管理がスムーズに行われるよう地域の医療機関への橋渡しとなるよう心がけています。

医薬品の特性、保険種別、治験への参加等の理由により院内で薬をお渡しする外来患者さんに対しても、調剤と服薬指導、外来で使用される注射薬の正確・迅速な提供、薬に関する相談など、外来での治療内容に沿って関わっています。

### 注射薬の無菌調製（抗がん剤・高カロリー輸液）

抗がん剤治療では副作用で感染しやすくなる事が多く、使用する注射薬は無菌的に調製することが求められます。また、抗がん剤からの曝露を防ぎ、安全に取り扱えるよう、外来・入院にかかわらず、投与計画に基づき内容を確認して調剤された抗がん剤を無菌環境で安全に作業可能な設備である安全キャビネットで行っています。また、食事が取れない患者さんに点滴で栄養を補う高カロリー輸液は栄養価が高く、細菌が混入すると点滴内で菌が繁殖します。薬による細菌感染を起ささないようにするため、同じく無菌環境で作業可能な設備であるクリーンベンチで調製を行っています。



**医薬品の情報提供**

さまざまな医薬品に関する情報を収集し、安全な薬物治療が行われるよう医療スタッフに提供しています。

**治験業務**

質の高い臨床研究を実施するため、治験薬・臨床研究試験薬の管理を行っています。また、治験担当薬剤師は、SMO(治験施設支援機関)と連携し、治験・臨床研究の事務局業務を担っています。

**薬業連携**

地域の開局薬剤師の方々に、より充実した薬の説明や指導を行っていただけるよう、年2回連携研修会を開催し、情報の提供および交流をはかっています。

**チーム医療への参画**

化学療法、緩和ケア、栄養サポート、感染制御、糖尿病、心臓リハビリテーション、褥瘡、プレストケアなどのチームに籍を置き、チームメンバーと協働して治療・療養の質の向上に貢献しています。

**学生実習**

当院では薬剤師の育成を目標として、薬学教育6年制課程の薬学実習生を受け入れ、「実務実習モデル・コアカリキュラム」に準じて独自のカリキュラムを組み、実務実習認定薬剤師を中心に学生の実務指導を行っています。

薬剤師は日々、新しい医薬品や治療内容の情報を収集し、自己研鑽に励んでいます。今後も、患者さんに対して真摯に向き合い、薬を通して安全を提供していきます。どうぞよろしくお願いします。

**「医療用麻薬」って怖くないの!?**

薬剤部 薬剤師 川嶋 慶子



「医療用麻薬」という言葉を耳にされてどのような印象をお持ちになるのでしょうか？患者さんやそのご家族の中には“麻薬”と聞いて「依存症にならないか?」「かえって寿命を縮めないか?」と思っ

ている方がいらっしゃるのではないのでしょうか？しかし、それは“誤解”です！

また、「医療用麻薬」について理解はしていても、痛みを我慢する方がいいと思ひ処方された薬を使わず、その結果痛みが緩和されないことがあります。

そこで今回、よくある質問や不安をQ&Aにしましたので参考にしてみてください。

**Q1. 医療用麻薬を一旦使い始めると、やめられなくなるの?**

**A1.** 医療用麻薬の依存症は500人に1人以下でしか起こらないことがわかっています。また、依存症は「医師の指導なく」乱用したときに生じます。痛みを持っている人が医師の指示通りに使用しても依存症にはならないといわれています。

**Q2. 医療用麻薬を使い始めると、寿命を縮めてしまわないの?**

**A2.** 痛み止めとして医療用麻薬を使うことで症状が緩和され、食事が摂れるようになり、夜眠れるようになるなど生活の質を高めることが期待できるようになります。そのため、適正な使用では寿命を縮めることはありません。

**Q3. 医療用麻薬を使い始めるということは、かなり悪いの?**

**A3.** がんの痛みは病気の進行とは必ずしも一致していません。医療用麻薬を使うかどうかは、病気の進行度ではなく、痛みの強さによって決まります。鎮痛薬の選択は、患者さんがどのような痛みをどの程度感じているかによって決まりますので、医療用麻薬を使い始めるからといって病状が悪化したということではありません。

**Q4. 医療用麻薬を使い続けると、効かなくなるの?**

**A4.** 医療用麻薬は使い続けても効果がなくなるということはありません。乱用目的の違法な麻薬では、いつも同じ快楽を得ようとする量を増やすしかありませんが、痛みのある人が医療用麻薬を使用する場合は、鎮痛効果がなくなるということが証明されています。

**Q5. 「痛みは我慢しないように」と言われますが、なぜ痛みを我慢してはいけないの?**

**A5.** 痛みを我慢することでかえって痛みのコントロールが難しくなり、眠れない、食欲がない、気持ちが暗くなるなど、日常生活に支障が出たりすることがあります。よりあなたらしく過ごすためにも痛みを我慢しないようにしましょう。

「医療用麻薬」は怖い薬ではありません！医師の指示を守って使うことで、痛みをしっかり抑え、生活の質を改善することができる大切なお薬です。

「痛みを我慢している」「我慢できない症状がある」など、どんなことでも構いません。医療スタッフと一緒に協力して、あなたらしさを取り戻しましょう！





『 甲斐副院長 総務大臣表彰を受賞！ 』

平成27年度救急功労者表彰において、甲斐副院長が「総務大臣表彰」を受賞されました。

救急功労者とは、救急業務の推進などに顕著な功績があった人に贈られるもので、毎年9月9日(救急の日)に表彰が行われます。表彰には総務大臣表彰と消防庁長官表彰があり、毎年全国から10数名の個人や団体が表彰されます。

高市早苗総務大臣から、「最重症傷病者の救命救急医療の実践、救急傷病者の収容、治療に尽力。救命救急医学、救命救急医療の向上及び地域医療活動の推進並びに救急・災害医療体制の整備、充実と救急業務の円滑かつ的確な実施に貢献された。」と、お言葉を頂きました。

■ 医療の提供の結果に関する事項

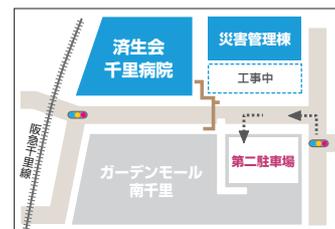
(厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠)

項 目	単位	H27年 4月	5月	6月	7月
新 入 院 患 者 数	人	844	776	831	897
退 院 患 者 数	人	810	808	809	899
入 院 延 べ 患 者 数	人	9,245	8,997	8,594	9,707
1 日 平 均 在 院 患 者 数	人	308.0	290.2	286.2	313.1
平 均 在 院 日 数	日	10.9	11.1	10.0	10.6
手 術 件 数	件	297	274	277	314
1 日 平 均 外 来 受 診 患 者 数	人	522.3	520.7	529.4	524.8

※病床数343床、そのうち救命救急センター43床

① 近隣駐車場のご案内

東館取壊しの為、平成27年5月11日から平成28年1月までの間、院内駐車場が閉鎖となりご迷惑をおかけしますが、従来通り診療を行っておりますので、よろしくお願いいたします。ご来院の際は、公共交通機関や当院巡回バスをご利用ください。なお、お車でお越しの際は、近隣のガーデンモール第2駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。



(駐車場の割引は外来及び入院の患者さんのみとさせていただきます)

① 巡回バス乗降場所の変更について

工事のため、病院正面玄関への敷地内通路を、平成27年11月1日～平成28年1月中旬まで閉鎖致します。このため、巡回バス乗降場所につきましても病院西玄関付近に変更を予定しています。(ご来院時には、警備員が案内致します) 大変ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

当院ご利用案内

診療受付時間

- ☆月～金曜日 8:30～11:30 12:30～14:30
- ☆土曜日 8:30～11:30
- ☆休診日 日、祝、国民の休日、12/31～1/3(年未年始)
- ・学会・出張等で、担当医師が休診又は代診となる場合があります。 予めご了承下さい。

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、3,240円いただきます。

歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。

詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。

誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

## 子ども メディカル ラリー

当院の活動報告

### 今年で4回目 日本初の子どもメディカルラリー

救命救急センター医長 伊藤 裕介

平成14年5月、当院の医師らで構成された医療チームが、チェコ共和国で開催された国際メディカルラリーに参加しました。その当時、病院前救護という概念は日本ではまだ確立されていませんでした。メディカルラリーに参加し、標準化された救急医療が現場で実践される事の重要性を強く認識し、平成14年10月29日第1回千里メディカルラリーを開催する事となりました。これが日本で最初に開催されたメディカルラリーです。メディカルラリーとは、医療チームが特殊メイクを施した模擬患者を診察し、限られた時間内にどれくらいの的確に診断と治療を実施することができるかを競う技能コンテストのことです。当院では平成14年以来、毎年秋に開催し、今となっては全国規模の大会となりました。

このメディカルラリーですが、本場チェコ共和国では小学生に対しても行われており子どもだけで、けが人の手当てや心肺蘇生術を的確に行っています。我々は、長年この「子どもメディカルラリー」を開催したいと思って

ており、平成24年10月16日遂に、わが国初の子どもメディカルラリーを開催しました。近隣の小学5・6年生20数名で開催され、心肺蘇生術や外傷処置、レスキュー体験などを行い参加した子どもたちや保護者から大きな反響を受け、その後、毎年開催し、今年で4回目となりました。

将来的には全国の小学生にこの大会を知ってもらい、幼い頃から命の大切さ、人を思う気持ちを培ってもらいたいと思います。



## ネパール 地震支援

当院の活動報告

### 村に残された人達にこそ医療が必要

救命救急センター医師 尾北 賢治

5月26日～6月6日、HuMA (Humanitarian Medical Assistance: 災害人道医療支援会) の三次隊(最終隊)の一員となり、ネパールの地震被災地、ラムチェ村で医療支援を行いました。ラムチェ村は首都カトマンズから車で3時間の山岳地帯にあります。JICAが支援をしていたバラビセ村からは約1kmカトマンズ寄りです。人々は余震や地滑りの不安がある中、日々瓦礫の撤去に追われながら生活していました。

HuMAでは5月9日から調査隊を、16日から一次隊を、21日から二次隊を派遣。調査隊と一次隊はカトマンズを中心に医療ニーズの調査を行いました。そこで、ラムチェ村のPHC(Primary Health Center)が候補にあがり、HuMAではここで医療支援を行うことにしました。

同PHCには震災前から、PHC専属の医師3人がカトマンズから派遣されていました。震災後は不眠不休で診療にあたり、夜になると崩れそうな建物の冷たい床に絨毯(じゅうたん)だけ敷いて過ごしていました。彼らはずっと笑顔ですが、少し話せばどれほど疲れているのか痛いほどわかります。

震災当初から、外国からの支援の申し出は多くありましたが、ネパール政府は「自国内で解決したい」との思いが強く、受け入れには難色を示していました。加えて、国民の貧富の差が大きく、お金がありアクセス手段のある人のみ治療を受け、避難できます。ラムチェ村でも、住民の60～70%は避難していますが、残っている人達に

こそ医療が必要です。

三次隊(医師2人、看護師2人、調整員1人)は5月27日にネパールに入国、3日までPHCで支援をしました。期間中、カトマンズとラムチェの中間にあるドウリケルという町のホテルを拠点に、車で往来しました。PHCでは現地スタッフに一日完全にオフの日を取ってもらいと、皆笑顔で街に飛び出して行きました。その日の夜は、ホテルの庭で一緒に宴を開き、語り合い、忘れられない夜となりました。現地の医師は自身もつらい中、自分の生活より傷ついた人々のために前向きに取り組む彼らは、医師の鑑です。

我々の活動も短期で終わることなく、世界の医療団が受け継いで、「さらに高地の集落にも診療の手を広げている」と聞きました。しかし、今も余震が続くうえ、雨季に入ったネパールで、日本にいても心配の種は尽きません。



## 整形外科って何するの？

整形外科部長(脊椎脊髄外科) 長山 隆一



最近では少なくなりましたが、整形外科の外来には『二重まぶたにして下さい』とか『爪の形を整えて下さい』といった方が来院されることがあります。最近でこそ美容外科や形成外科という言葉が知られるようになり、整形外科では美容のことは扱わないと認識されるようになりました。しかし、未だにマスコミ等のメディアでは美容整形という言葉を使用し、一般の方々を混乱させているという事実は、非常に遺憾に思います。

では整形外科は何を治療するところでしょうか？整形外科では頸から下の、骨・関節、筋肉、神経の病気や怪我を治療する所です。つまり整形外科が扱う体の範囲は非常に広く、このため莫大な疾患が関与することになります。昔は一人の先生が、骨、筋肉、神経を全て診ていましたが、現在は医学の進歩に伴い、治療にはより専門的な知識が必要です。当然整形外科医は、骨、筋肉、神経の専門家なので、一通りの知識はありますが専門的な診療・治療を網羅することは困難になっています。それほど現代の医学は進歩してきました。

整形外科ではこういった現状に対応するため、各々の先生が整形外科の中で得意分野（専門分野）を持っております。当院の整形外科では関節外科（股関節・膝関節・足関節）、脊椎脊髄外科（頸椎・胸椎・腰椎）、上肢の外科（肩関節・肘関節・手関節・末梢神経）の専門分野を持った医師がそれぞれの疾患に対応しております。

特に当科の特色としては、ナビゲーションシステムを用いた人工膝関節手術、顕微鏡や内視鏡を用いた腰椎手術、脊椎圧迫骨折後偽関節に対する椎体形成術など最新の技術を用いた手術や、骨折など比較的早期手術が必要な場合には出来るだけ早く対応出来るよう手術室とも連携しており、千里地区の整形外科手術治療の要となるよう心がけております。

整形外科では、入院患者さんの治療や手術件数の増加から、限られた外来診療時間の中で、すべての患者さんに十分な対応することが困難な状況です。このため外来診療については、地域の診療所（医院）と連携しながら、手術等専門的治療が必要な患者さんを対象にしております。当然手術が必要かどうかは、整形外科の専門医でなければ判断できませんので、まずは近隣の整形外科診療所（医院）を受診していただき、専門的治療が必要であれば、紹介状を持参の上受診していただければ、診療が非常にスムーズに進むこととなります。また、当科を受診されても、症状・状態によっては、近隣の整形外科でその後通院を続けていただく場合もあります。治療の方法により役割分担していると理解していただければ分かりやすいかと思えます。

※手術の詳細は当院のホームページ(整形外科)をご覧ください

<http://www.senri.saiseikai.or.jp/hospital/department/orthopedics/>

## がん相談支援センターのご案内

当院ではがん相談支援センターを設置し、がんに関わる不安や悩みについてのご相談をお受けしています。ソーシャルワーカーが様々な情報提供を行い、問題解決のお手伝いや療養のサポートを行います。ご相談をご希望の方は、産科・婦人科の奥にあるがん相談支援センター（福祉相談室内）をお訪ねください。

※秘密は守ります。予約不要ですが状況によりお待たせする場合がありますが、ご了承下さい。

## 無料低額診療事業の相談について(ご案内)

当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法に規定された経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に対して適切な医療を受けることができるように支援することを目的とした無料低額診療事業を行っています。

「急な入院で支払いができない」「介護もしているのに、費用負担が重い」「非課税世帯で収入が少ない」「障害者手帳を持っていて医療費助成制度の対象になっている」など医療費の負担ができないといった相談を具体的に解決していきます。また、さまざまな保険制度に関することや医療費の支払いに関する相談も受け付けています。相談は、産科・婦人科の奥にある福祉相談室にてソーシャルワーカーが承っています。

このほか「介護が必要になりそうだが、どうしたらいいかわからない」「がんで治療をしているが、今後のことについて情報提供してほしい」「離れて暮らしているのに、一人暮らしの父親のことが心配だ」などの生活に関する相談も受け付けています。

■ 福祉相談室受付時間：平日 10時～16時・土曜 10時～12時（受付状況によりお待たせする場合がありますが、ご了承下さい。）

## 行事予定

済生会千里病院

平成27年

10月～12月

※変更になる場合があります。  
予めご了承下さい。



### ■ 糖尿病教室

【日時・演題】 11月2日(月) 「家庭でもできる運動療法」 「糖尿病腎症について」  
12月7日(月) 「糖尿病のお食事について」 ※いずれも13:00～14:00  
【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121 内線208

### ■ 心臓病教室

【日時】 毎週水曜日 11:30～  
【開催場所】 病院4階 心臓リハビリテーション室 【お問い合わせ】 心臓リハビリテーション室 06-6871-0121 内線680

### ■ 北千里地区公民館主催健康講座

【日時・演題】 11月14日(土) 13:30～ 「口腔がんについて」 「命にかかわる危ない頭痛」  
【開催場所】 北千里地区公民館 2階 大会議室 【お問い合わせ】 北千里公民館 06-6834-2921

### ■ 南千里地区公民館主催健康講座 (※要予約 11/20(金)10:00～ 南千里公民館で参加券を配布)

【日時・演題】 12月12日(土) 13:30～ 「脳卒中ってなんですか?」 「C型肝炎の最新治療について」  
【開催場所】 千里ニュータウンプラザ 2F 大ホール 【お問い合わせ】 南千里公民館 06-6833-5153

### ■ 乳腺疾患勉強会

【日時・演題】 10月31日(土) 14:00～15:30  
「保険診療で乳房再建手術が行えます」 「高額療養費制度について」  
【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1 【お問い合わせ】 医療秘書室 吉村 06-6871-0121

### ■ 母親教室 (※要予約)

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。  
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)  
【開催場所】 病院3階デイルーム 【お問い合わせ】 産婦人科外来 06-6871-0121

### セカンド・オピニオンについて

他院で治療を受けている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンド・オピニオン外来を行っております。

【お問合せ】  
1階総合受付カウンター (医事課)

### 患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

### 卒後臨床研修病院について

- 当院は臨床研修医に対する教育病院(臨床研修病院)です。
- 指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら患者さんの診療に当たっております。
- 臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、何なりとご意見を寄せ下さい。

## 済生会千里病院の理念

### 「心のこもった医療」

#### 基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

#### 職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

## 個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。

## 患者さんの権利と責務

### (患者さん-医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。

地域医療支援病院 大阪府がん診療拠点病院



社会福祉法人

恩賜財団 **大阪府済生会千里病院**

(編集・発行) 広報ホームページ委員会・経営戦略課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)

ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。  
E-mail: [hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp](mailto:hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp) (右のQRコードからもアクセスできます)

